

IV

大学 COC 事業に係る運営等

大学 COC 事業関係会議

広報活動

シンポジウム等の活動

本章では、本学 COC 事業の運営、広報、及びシンポジウム等の活動をまとめて報告する。

IV-1. COC 関係会議の開催

大学 COC 事業を推進するために、各プロジェクトの進捗報告、相談等を行う、RCC 事業会議(COC 事業と COC+ 合同、週1度)を実施した。また、RCC 事業本部マネジメント会議(不定期)。平成 28 年度からは地域連携推進機構が設置されたことを受け、地域連携推進機構会議(月1度)、生涯学習推進部門会議(月1度)が、執り行われ、COC 事業の報告が共有された。また内部・外部評価委員会(年1回～年2回)も実施した。

IV-2. 広報活動

・ウェブサイト、ロゴマーク等の作成

大学 COC 事業採択にあたり、平成 25 年に、地(知)の拠点整備事業「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」を推進するために、学長の下に、琉大コミュニティキャンパス事業マネジメント会議を置き、琉大コミュニティキャンパス事業マネジメント会議規則の下、琉大コミュニティキャンパス事業本部(略称、RCC 事業本部)を設置した。RCC 事業本部のロゴマークを作成し、大学 COC 事業の情報発信に取り組んだ。「COC 事業」の公式ウェブサイトを作成し、大学公式ホームページに、「COC 事業」の特設サイトを開設した。Facebook も開設し、積極的な情報発信に努めた。



大学 COC 事業を含む RCC 事業のロゴマーク

ウェブサイト

<http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp>



facebook

<https://www.facebook.com/ryudaicoc/>



また、COC 事業を紹介するパンフレット(COC+と合同)や紙バッグ、封筒、クリアフォルダなどを制作し、入学時の学生へのオリエンテーションをはじめ、学内外へ配布した。



販促グッズの数々



「地（知）の拠点」としての琉球大学

leader global development sustainability
University of the Ryukyus

COC+ new educational collaboration solution sustainability
COC cooperation

地域を結び
人を結び
活気あふれる
ちゅら島の未来創り

University of the Ryukyus

地 × 知

Community Wisdom

沖縄県は、東西 1,000km、南北 400km の海域に点在する島嶼県であることから、その空間的・時間的・経済的な制約により、地域の活性化を担う人材育成の面で、大きな困難を抱えています。琉球大学では、この「地域の活性化を担う人材育成の困難性」という地域課題に対応するために、「地（知）の拠点」として、地域社会の発展に資する人材育成に取り組んでいます。

Center of Community University of the Ryukyus

COC 事業、COC+事業を紹介するパンフレット(1～2 ページ)

「ちゅら島の未来」地域の活性化を担う人材育成の拠点

Center of Community University of the Ryukyus

東西南北をつなぐ琉球大学サテライトキャンパス

琉球大学では、県内の島嶼部を含む4地域に琉球大学サテライトキャンパスを設置しています（平成28年1月現在）。このキャンパスでは、「サテライト教育システム」を活用した双方向（多方向）型の教育、対面式の出前講座、また、シンポジウム・フォーラム・ワークショップ等、多様な学習形態による学びの機会の拡充に努めています。これまでの主な活動実績については以下の通りです。また、地域の中高生を対象とするオープンキャンパスも開催しています。

これまでの主な活動実績

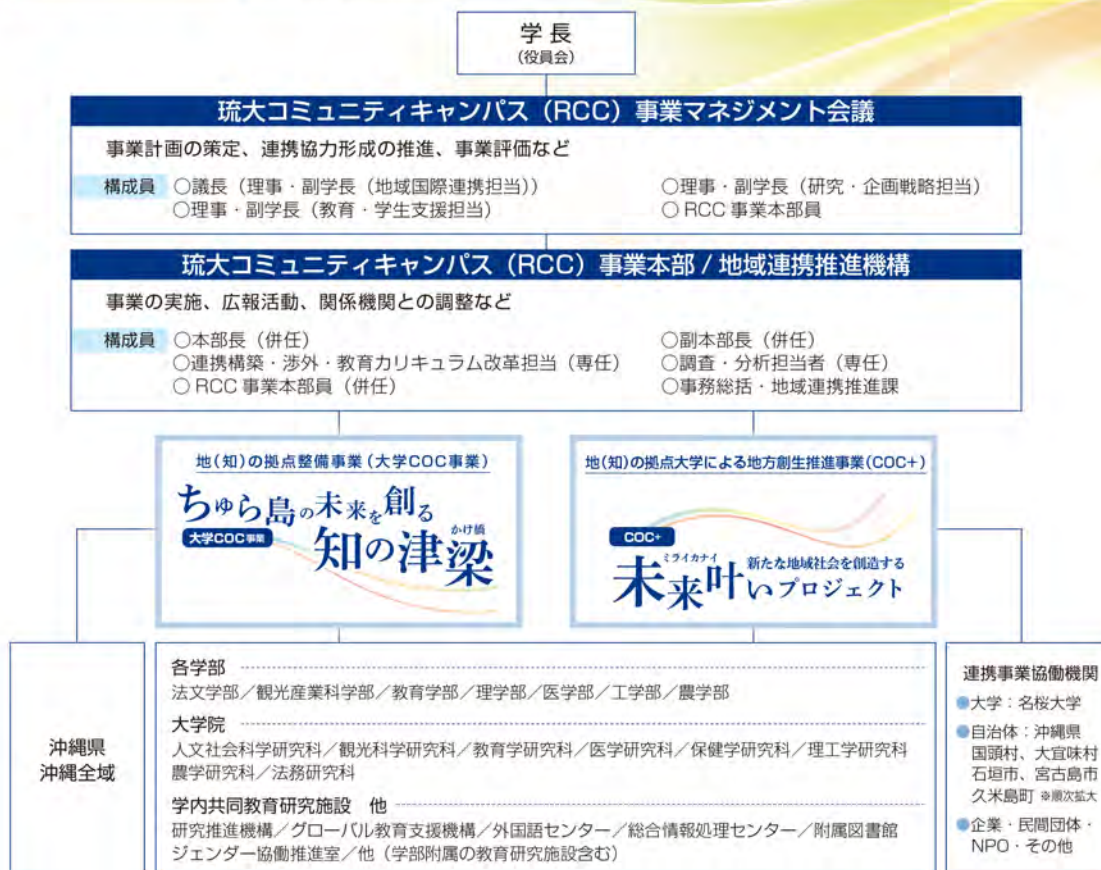
- ◆公開講座：県民ランナーのためのランニング科学講座、沖縄近現代史事始め、気になる子どもの理解・子育て・支援、新人養護教諭のための業務サポート講座、心理リハビリテーション、ボランティア養成講座、電子工作教室 等
- ◆公開授業：海洋の科学、次世代観測を通して学ぶ宇宙、琉球語学概論Ⅰ・Ⅱ 等
- ◆その他：琉球大学オープンキャンパスの開催、JAXA 宇宙飛行士若田光一ミッション報告会の開催（児童・生徒及びその保護者対象）他、関係主催の市民講座等の開催 等



COC 事業, COC+事業を紹介するパンフレット(5~6 ページ)

ORGANIZATION

実施体制



ACCESS MAP

琉球大学サテライトキャンパスへのアクセス

※大宜味村・国頭村にも平成27年度中に設置予定



各種公開講座・公開授業に関する詳細は、下記 URL からアクセスしてください。

▶ <http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/lecture>



琉大とともに学びませんか？

琉大コミュニティキャンパス(RCC)事業に関するお問い合わせ



国立大学法人琉球大学 地域連携推進課
〒903-0213 中頭郡西原町字千原 1 番地
TEL: 098-895-8085 / FAX: 098-895-8185
<http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/>



・琉大ラジオキャンパスの実施

平成 26 年 4 月 6 日～平成 27 年 3 月 29 日の毎週日曜日(17:30～18:00)『RBCi ラジオ』にて「琉大ラジオキャンパス～Live with the community～」が放送された。司会進行となる MC は、本学の下地芳郎学長補佐と RBC ラジオカンパニーの比嘉京子氏が務め、年間 52 回の放送の中で、本学教員や学生らが登場し、好評を博した。

■放送内容(平成 26 年度, 全 52 回放送)※肩書等は当時のまま

回	放送日	テーマ	出演者
第1回	4月6日	ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)事業概要	下地 芳郎(学長補佐(社会連携担当)・観光産業科学部教授)
第2回	4月13日	琉球大学生涯学習教育研究センターの取り組みについて	真栄城 勉(生涯学習教育研究センター長・教育学部教授)
第3回	4月20日	①「うない研究者支援センターの活動について」 ②「もずくの有効活用研究について」	小西 照子(うない研究者支援センター センター長・農学部准教授)
第4回	4月27日	しまくとぅば	狩俣 繁久(琉球アジア文化琉球語学教授・法文学部)
第5回	5月4日	沖縄の学力問題について	西本 裕輝(大学教育研究センター・准教授)
第6回	5月11日	知のふるさと納税参加による離島との交流	コスワッタゲー・チャリット・ジャヤナダ(大学院理工学研究科・電気電子工学専攻)
第7回	6月1日	「沖縄観光の現状」 「琉球大学サテライト那覇キャンパス開設及び今後のお知らせ」	下地 芳郎(観光産業科学部・教授)
第8回	6月8日	琉球大学 学生の取組	<石垣市出身> 崎山拓真 法文学部国際言語文化学科琉球アジア文化専攻 2年 川島海斗 教育学部学校教育教員養成課程保健体育専修 2年 <南大東島出身> 辺土名夏姫 観光産業科学部産業経営科 3年
第9回	6月15日	サンゴ礁の生き物	竹村 明洋(理学部・教授)
第10回	6月22日	琉球大学との連携によるクワンソウ商品化	渡嘉敷 朝子氏(株式会社クレイ沖縄)
第11回	6月29日	インターネットを活用したビジネス	長田 智和(工学部・教授)
第12回	7月6日	琉大オープンキャンパス(7月19日)のお知らせ	中村 肖三(琉球大学アドミッション・オフィス室長・教授)
第13回	7月13日	修学旅行生の受け入れについて	中村 肖三(琉球大学アドミッション・オフィス室長・教授)
第14回	7月18日	沖縄の健康についての実態	大屋 祐輔(医学研究科・教授)
第15回	7月20日	海外留学	川畑 真美 観光産業科学部 産業経営学科オールアジアへ留学予定 宮里 雅樹 観光産業科学部 観光科学科 ハワイ(ヒロ校)へ留学予定 加賀 若菜 観光産業科学部 観光科学科 ハワイ(マノア校)へ留学予定
第16回	7月25日	沖縄の健康についての実態	大屋 祐輔(医学研究科・教授)
第17回	7月27日	サークル活動	吹奏楽部 法文学科人間科学科 3年 菊沢拓, 工学部電気電子工学科 3年 新庄智大 ジャグリングクラブ 工学部機械システム工学科 3年 花輪 光

			Ryukyu Tourism Club 観光産業科学部 観光科学科2年 加賀 若菜
第18回	8月3日	下地 正勝（琉球大学総合企画戦略部 地域連携推進課長）	『地域のための大学, 地域を志向した大学』としての取組について
第19回	8月10日	国際沖縄研究所について	藤田 陽子（国際沖縄研究所 所長）
第20回	8月17日	センターの研究内容(サンゴの研究他)について	酒井 一彦（熱帯生物圏研究センター センター長）
第21回	8月24日	感染症や熱帯資源の活用などの研究について	松崎 吾郎（熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究施設 教授 医学博士）
第22回	8月31日	沖縄のサンゴ礁と防災, 琉球大学の研究が解き明かす	仲座 栄三（産学官連携推進機構長・副学長（情報・防災・産学連携担当））
第23回	9月7日	附属図書館から地域へ発信	伊澤 雅子（附属図書館・館長）
第24回	9月14日	琉大祭について	比嘉 隆一郎（学生会長・第63回琉大祭実行委員長）
第25回	9月21日	琉球大学教育学部附属中学校の取組について	平田 幹夫（教育学部附属中学校 校長）
第26回	9月28日	学生起業という選択と平和“共”育への想い	国仲 瞬（(株)がちゅん代表取締役社長兼 CEO/琉球大学教育学部 3年）
第27回	10月5日	環境保全型農業(ウコン活用他)について	モハメド アムザドホサイン（農学部亜熱帯地域農学科准教授）
第28回	10月12日	風樹館の展示内容について	辻 瑞樹（風樹館館長）
第29回	10月19日	エネルギーについて	清水 洋一（教育学部技術教育教室 教授）
第30回	10月26日	教育学部学生と子どもの国, 共同主催「ドリームフェスティバル2014」に向けて	宮城 奈緒（教育学部教育実践学専修4年次） 與那嶺 拓誠（教育学部教育実践学専修4年次）
第31回	11月2日	法文学部市民講座【地域貢献フォーラム】に向けて	狩俣 繁久（法文学部教授）
第32回	11月9日	ガンジューサンゴ礁の探索について	中村 崇（理学部講師）
第33回	11月16日	市民ランナー講座～NAHA マラソン完走に向けて～	尾尻 義彦（医学部保健学科教授）
第34回	11月23日	中国留学で学んだことと琉球舞踊家としての活動について	我部 大和（大学院人文社会科学部研究科 2年）
第35回	11月30日	村落景観としてのフクギ屋敷林について	仲間 勇栄（琉球大学名誉教授）
第36回	12月7日	「産学連携ツーリズムセミナー」～TOMODACHI PROJECT～最優秀賞の受賞について	真栄城佑理さん, 屋我星乃さん（観光産業科学部産業経営学科3年）
第37回	12月14日	琉球の音とことばの実験室	高良 富夫（工学部長 情報工学科教授）
第38回	12月21日		
第39回	12月28日	骨髄移植センターの取組について	百名 伸之（医学部附属病院骨髄移植センター長）
第40回	1月4日	卒業旅行企画コンテスト「学卒プロジェクト」～最優秀賞の受賞について～	宮城アンナメイ, 本田孝一郎（観光産業科学部産業経営学科2年）
第41回	1月11日	農学部における技術職員としての取組について	屋良朝宣（農学部事務部千原フィールド 技術職員）
第42回	1月18日	沖縄では鉄がなぜさびやすいの？	下里 哲弘（工学部 環境建設工学科准教授）
第43回	1月25日	琉球大学の教育に関する地域貢献について	大城 賢（教育学部英語教育講座教授 附属教育実践総合センター長）
第44回	2月1日	琉球大学サテライトイブニングカレッジの開講について	牛窪 潔（観光産業科学部 教授）
第45回	2月8日	(株)ルーツにおける学生支援の取組について	野中光【(株)ルーツ】
第46回	2月15日	就職センターの取組と本学の就職状況について	松本 剛（理学部物質地球科学科教授 就職センター長）
第47回	2月22日	琉球語の歴史からみた現在の言語状況	石崎 博志（法文学部国際言語文化学科 准教授）
第48回	3月1日	3月7日, 8日開催!! 学生イベントについて	大学コンソーシアム沖縄「学生サミット」について・城間康工学部4年次

			ミュージカル「ピーカリーフロント」について・・・ 大城伸一教育学部4年次
第49回	3月8日	琉大コミュニティキャンパス事業について	琉大コミュニティキャンパス事業本部・・・宮里 大八特命准教授 山田美都雄特命助教
第50回	3月15日	琉球大学教育学部附属小学校の取組について	金城 昇(教育学部附属小学校 校長)
第51回	3月22日	留学生センターの取組について	葦原 京子(留学生センター 講師) 陳 正紳 (留学生)
第52回	3月29日	最終回「琉大の歴史と地域貢献への取り組み、今後の方向性について」	大城 肇 (琉球大学 学長)

・メディア掲載

以下、新聞等メディアに掲載された活動についてリストアップする

■メディア掲載一覧

No.	事業名	掲載日	掲載メディア	掲載タイトル
	シンポジウム	平成25年11月29日(金)	琉球新報	琉大の役割討議 来月7日シンポ
	シンポジウム	平成25年12月4日(水)	沖縄タイムス	学び直し新拠点 琉大PRシンポ
	シンポジウム	平成25年12月5日(木)	週刊レキオ (琉球新報の副読誌)	琉球大学シンポジウム～ちゅら島の未来を 創る知の津梁(かけ橋)～
	サテライト・イブニング・ カレッジ	平成27年4月22日(水)	沖縄タイムス	仕事帰りに琉大講座
		平成27年6月10日(水)	琉球新報	学びの機会、幅広く 久米島に琉大衛星校開設
	地域共創型学生プロジェクト「ちゅらプロ」		RBC「島人 ぬ宝」	「沖縄ヤギ復興プロジェクト」の取組で取材を 受ける。
	出前講座	平成28年11月12日(土)	沖縄タイムス	ミニ四駆作ったぞ 大宜味で琉大出前講座
	出前講座		沖縄タイムス	講座出前します 琉球大トリオ
	公開講座・公開授業	平成29年4月7日(木)	琉球新報	工作、健康、自然、歴史、芸術・・・県内各 大、一般向け講座 募集直後に満員の教室 も
	自治体職員向け研修	平成29年5月22日(月)	沖縄タイムス	職員研修ニーズに対応
	地域共創型学生プロジェクト「ちゅらプロ」	平成29年10月17日(月)	琉球新報	琉大サークルが伊江で宇宙教室
	地域共創型学生プロジェクト「ちゅらプロ」	平成29年11月18日(土)	沖縄タイムス	天体望遠鏡に興味津々
	地域共創型学生プロジェクト「ちゅらプロ」	平成29年3月	広報金武	金武町の特産品「田芋」をPR

IV-3. シンポジウム等の活動

・サテライトキャンパス開設式典

●「琉球大学サテライト宮古島キャンパス・石垣キャンパス」両開設式典を開催

平成 26 年 4 月 24 日(木)に宮古島市中央公民館において宮古島キャンパス開設式典を、4 月 25 日(金)に石垣市立図書館において、石垣キャンパス開設式典を盛大に開催した。宮古島キャンパス及び石垣キャンパスは、平成 25 年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択された本学の「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」事業のプログラムの一つである学び直し充実強化の一環として平成 25 年度末に設置したもの。サテライトキャンパスでは、本学主催の公開講座や公開授業の一部をサテライト教育システム(ビデオ会議システム)により受講することができ、また、本学の教員や学生が各キャンパスに出張する出前での公開講座を実施することとした。

式典では、始めに、大城肇学長による挨拶の後、宮古島キャンパスにおいては、下地敏彦市長の挨拶、石垣キャンパスにおいては、玉津博克教育長が挨拶し、その後、デモンストレーションとして、サテライト教育システムを活用して、本学から各サテライトキャンパスにライブ配信による公開講座を行った。公開講座は、本学法文学部の池田栄史教授による「元寇沈船を探す―琉球大学による水中考古学の試み―」をテーマに行われ、聴講者は、国内での最新の調査研究の内容に熱心に耳を傾けていた。

後半に行われたワールドカフェでは、「キャンパスへの期待―何を望み、どう活用するのか」をテーマに、参加者同士による活発なディスカッションが行われ、サテライトを設置する地域からの知の発信の必要性や地域の社会教育施設や関係機関、同窓会等との連携、資格や単位の取得、地域の歴史や地理等の地域特性の講座の実施など、琉球大学サテライトキャンパスへの期待や要望が出された。ワールドカフェの最後に、真栄城生涯学習教育研究センター長による総括が行われ、今回の成果を今後のサテライトキャンパスの運営や本事業の取組に活かしていくことを確認し、閉会となった。

琉球大学では、今後、サテライトキャンパスを通じて、地域のための大学として、地域を志向した大学として、全学的に取り組むこととしている。



石垣キャンパス開設式典の様子



宮古島キャンパス開設式典の様子

●琉球大学サテライト・那覇キャンパス開設式典を開催

平成 26 年 6 月 1 日(日)に那覇市牧志駅前ほしぞら公民館(モノレール牧志駅前)において琉球大学サテライト・那覇キャンパス開設式典を開催。サテライト那覇キャンパスの開設式典は、四月に開催された宮古島キャンパス、石垣キャンパスに引き続き行われ、この3つのサテライトキャンパスは、平成 25 年度文部科学省「地(知)の拠点整備事業」に採択された「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」のプログラムの一つである学び直し充実強化の一環として平成 25 年度末に設置したもの。

式典の開会に先だち、大城肇琉球大学長と渡慶次(とけし)克彦那覇市教育委員会教育長による琉球大学サテライト那覇キャンパスの看板の除幕が行われた。その後、会場をホールに移し、式典が開会され、始め

に、大城肇学長と渡慶次教育長による挨拶が行われました。その後、開設を記念して、サテライト教育システムの配信による公開講座と、本学の教員による出前での公開講座が行われた。

最初の公開講座は、大学キャンパスの生涯学習教育研究センターと、那覇キャンパスとがサテライト教育システムによりつながり、本学保健管理センターの崎間敦准教授による「琉球大学発、地域健康づくり」をテーマに行われ、本講座の最後には、受講者からの質問に崎間准教授が画面を通じて応え、双方向でのやりとりが実現。また、出前での公開講座では、本学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座(第三内科)の大屋祐輔教授による「沖縄の長寿を取り戻そう！～長寿転落の原因とその対策～」をテーマに行われ、沖縄県の食習慣の変化が長寿県転落の要因の一つであることを挙げ、今後、地域の人と人とのつながりにより、地域での健康の増進につなげていくことの必要性について提言があった。

式典には、一般市民や大学関係者など約 100 名が参加し、那覇キャンパスの門出を祝福した。



那覇キャンパス開設式典の様子



那覇キャンパス開設式典の様子

●琉球大学サテライト・久米島キャンパス開設式典を開催

平成 27 年 5 月 24 日(日)に久米島町具志川農村環境改善センターにおいて久米島キャンパス開設式典を開催した。4 番目のサテライトキャンパスとして、平成 26 年度末に設置したもの。開設式典に先立ち、大田治雄久米島町長、吉野剛教育長、上里浩教育課長、大城肇琉球大学長、外間登美子琉球大学理事・副学長、小島浩孝琉球大学理事・副学長による「琉球大学サテライト・久米島キャンパス」の看板の除幕が行われた。式典では、始めに、大城学長による挨拶が行われ、続いて大田町長の挨拶、その後、デモンストレーションとして、サテライト教育システムによる本学から久米島キャンパスへの公開講座の配信が行われた。

公開講座は、本学教育学部教授の島袋恒男氏が講師を務め、テーマを「学力向上は『学校での学び』×『家庭学習』」として行われ、聴講者は、最新の調査研究の内容に熱心に耳を傾けていた。続いて、久米島町出身の学生による、地元生徒との交流事業「知のふるさと納税事業」の紹介がサテライト教育システムにより行われた。

後半に行われたワールドカフェでは、「琉球大学への期待～琉球大学サテライトの活用方法など」をテーマに、参加者同士による活発なディスカッションが行われ、サテライトを活用した専門的な講義のみならず島民や観光客も学べる講義の提供、久米島だけでなくその他のサテライトを繋ぐ離島間の連携、小中高校と大学生・研究者による交流や専門教育、海洋深層水や地域特産品の研究開発及びマーケティング、サテライトによるキャリア教育の遠隔支援など、琉球大学サテライトキャンパスへの期待や要望が多数出されました。

ワールドカフェの最後では、下地芳郎社会連携担当学長補佐による総括が行われ、今回の成果を今後のサテライトキャンパスの運営や本事業の取組に活かしていくことが確認され、大城学長からは、参加者から出た「繋がり、交流、関わり」の 3 つのキーワードを通して、久米島サテライトを「久米島サロン」とし、久米島の地元住民との空間づくり・学びの場づくりを行っていきたい、と締めくくりの挨拶が行われ、閉会となった。



久米島キャンパス開設式典の様子

●「琉球大学及び名桜大学サテライト・国頭キャンパス・大宜味キャンパス」両開設式典を開催

琉球大学及び名桜大学は、平成 28 年 7 月 2 日 (土) に国頭村民ふれあいセンターにおいて国頭キャンパス開設式典を、7 月 3 日 (日) に大宜味村農村活性化センター (大宜味の駅 2 階) において、大宜味キャンパス開設式典を開催した。国頭村及び大宜味村の両村に設置することとなり、合計 6 カ所の設置。名桜大学では、名桜大学サテライト・国頭キャンパス及び大宜味キャンパスも併せて開催した。式典では、始めに、国頭キャンパスにおいては、宮城久和国頭村長の挨拶、大宜味キャンパスにおいては、宮城功光大宜味村長が挨拶し、その後、大城肇琉球大学長、山里勝己名桜大学長の両学長が挨拶。その後、デモンストレーションとして、サテライト教育システムを活用して、琉球大学からサテライトキャンパスへインターネットによる公開講座の配信と、名桜大学の教員による出前での公開講座を両サテライトキャンパスにおいて行った。

国頭キャンパスでの配信による講座は、琉球大学教育学部講師の宮城一菜氏による「沖縄県における肥満の現状—生活習慣との関連について—」をテーマに行われ、出前講座は、名桜大学国際学群教授の新垣裕治氏による「地域資源の活用と環境教育、地域との関わり的重要性～ヤンバルクイナを通しての環境教育と地域探訪～」をテーマに行われた。

大宜味キャンパスでの配信による講座では、琉球大学教育学部准教授の照屋俊明氏による「シークワサー搾り残渣を活用した機能性素材の研究開発」をテーマに行われ、出前講座では、名桜大学人間健康学部教授の高瀬幸一氏による「産学官で取り組む健康増進施策—自主的な運動の場とコミュニティづくりの先進的事例紹介—」をテーマに行われた。

式典に参加した多くの聴講者は、両大学における最新の調査研究の内容に熱心に耳を傾けていた。



国頭キャンパス開設式典の様子



大宜味キャンパス開設式典の様子

・成果報告会

平成 27 年度から平成 29 年度まで毎年度、事業成果報告会を開催した。本報告会は、琉大コミュニティキャンパス事業(大学 COC, COC+事業)においての成果の共有を通じて、今後本学がいかなる形で地域志向性を創出し、有益な地域貢献を果たすことができるのかについて理解を深めることを目的として開催した。主に学内の教職員及び RCC 事業外部評価委員会委員を対象に実施したが、外部からの参加者も見られた。

●平成 27 年度成果報告会概要

平成 27 年4月 28 日に本学地域創生総合研究棟1階の多目的室において開催した。冒頭に、外間登美子(地域国際連携担当理事・副学長)氏から、挨拶が行われ、続いて RCC 事業本部特命助教の山田美都雄氏から、「本学の大学 COC 事業の推進状況」について報告が行われた。



平成27年度
琉大コミュニティキャンパス (RCC) 事業

成果報告会

日時:平成28年2月17日(水)13:30~16:00(受付13:00~)
会場:琉球大学 共通教育棟2号館101教室

趣旨
本報告会では、本学が推進する「琉大コミュニティキャンパス(RCC)事業」(大学COC事業)において平成27年度に実施された事業の成果および今後の事業展開の方向性についての報告を行う。本報告会においては、これらの情報の共有を通じて、今後本学がいかなる形で地域志向性を創出し、有益な地域貢献を果たすことができるのかについて理解を深める機会としたい。

プログラム

I. 開会の挨拶(13:30~13:35)
外間 登美子 理事・副学長(地域国際連携・ダイバーシティ推進・広報担当)

II. 本学の大学COC事業の推進状況について(13:35~13:45)
山田 美都雄 RCC事業本部特命助教

III. 地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)成果報告(13:45~14:45)
1. 「宮古島城辺方言の音声教材作成—聞いて話せる音声教材をめざして—」
2. 「体験型地域コミュニケーションの実現に向けたメディアアートプロジェクト」
3. 「沖縄ヤギ文化復興プロジェクト」
4. 「元氣プロジェクトin久米島」
5. 「週末農業の会@名護東海岸」

休憩(14:45~14:55)

IV. 「地域志向プロジェクト」事業の成果報告(14:55~15:25)
1. 「県内ものづくりに携わる人材の学び直しおよび技術の向上」(工学部 屋我実教授)
2. 「ちゅら島の過去と未来を見つめるまなざし—地域の歴史・変容の過程を見つめる力を育成するプログラム—」(附属図書館 富田千夏氏)

V. 「地域志向教育推進プロジェクト」事業の成果報告(15:25~15:55)
1. 「アメージングスクールでの「家庭科」衣生活領域の出前授業を通じた子ども・地域・国際理解の推進事業【衣生活学特講】」(教育学部 松本由香教授)
2. 「農山漁村地域の生態系・景観保全と地域資源活用問題の解決に貢献する人材育成に向けた取組【農村計画学・応用測量学】」(農学部 中野拓治教授)

VI. 総括・閉会の挨拶(15:55~16:00)

■本件問い合わせ先■
国立大学法人琉球大学 総合企画戦略部地域連携推進課 琉大コミュニティキャンパス事業本部
TEL:098-895-8085(平日9:00~17:15) FAX:098-895-8185
E-mail: tyurasimagyou@tojim.u-ryukyu.ac.jp URL: <http://ryudalocojim.u-ryukyu.ac.jp>
主催: 琉大コミュニティキャンパス事業本部 共催: グローバル教育支援機構(大学教育センター)







平成 27 年度成果報告会の様子



平成 28 年度成果報告会の様子



平成 29 年度成果報告会の様子

●平成 28 年度成果報告会

平成 29 年2月 16 日に本学共通教育棟の2号館 101 教室において開催した。本報告会では、冒頭に、外間登美子(地域連携推進機構理事・副学長)氏から、挨拶が行われ、続いて地域連携推進機構特命助教の山田美都雄氏から、「本学の大学 COC 事業の推進状況」について、地域連携推進機構特命准教授の小島肇氏から「本学の COC+事業の推進状況」について報告が行われた。

その後、COC 事業取組の一環である「地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)」から4プロジェクト、「地域志向プロジェクト」及び「地域志向教育推進プロジェクト」の各プロジェクトから、1事例ずつ報告がありました。また、COC+事業取組の一環である「正課外地域実践教育プロジェクト」から2事例の報告があった。

最後に、RCC 事業本部長の遠藤光男氏から総括及び閉会の挨拶があり、終了した。



地(知)の拠点

平成28年度
琉大コミュニティキャンパス(RCC)事業

成果報告会

日時 平成29年2月16日(木)
13:30~16:15(受付13:00~)

会場 琉球大学
共通教育棟2号館101教室

プログラム

- I. 開会のあいさつ(13:30~13:35)
外間 登美子 理事・副学長(地域国際連携・ダイバーシティ推進・広報担当)
- II. RCC事業(大学COC事業、COC+)の進捗状況報告(13:35~13:55)
山田 美都雄 地域連携推進機構 生涯学習推進部門 特命助教
小島 肇 地域連携推進機構 地域連携企画室 特命准教授
- III. 地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)成果報告(13:55~14:50)(COC)
 1. 「体験型地域コミュニケーションの実現に向けたメディアアートプロジェクト」
 2. 「果園島プロジェクト〜果園島の特産品開発／電気ウニプロジェクト in 果園島〜」
 3. 「東海岸のイカした逆転！」
- 休憩(14:50~15:00)
- IV. 「地域志向プロジェクト」成果報告(15:00~15:15)(COC)
 1. 「島嶼医療における看護職の臨床看護研究能力育成」(医学部 眞榮城千夏子講師)
- V. 「地域志向教育推進プロジェクト」成果報告(15:15~15:40)(COC)
 1. 「地域における就労文化の貧困を乗り越えるための「働くつながり」プロジェクト【社会学研究VI】(社会学研究XXVI)」(法学部 野入直美教授)
- VI. 「正課外地域実践教育プロジェクト」成果報告(15:40~16:10)(COC+)
 1. 琉球大学-京都大学合同デザインスクール2016」(工学部 富間愛見准教授)
 2. 「世界ウチナンチュ大会in久米島 久米島町民と琉大生が一緒に迎えるハワイオプショナルツアーへの取組」(キャリア教育センター 松本剛センター長)
- VII. 総括・閉会のあいさつ(16:10~16:15)

趣旨
本成果報告会では、本学が推進する「琉大コミュニティキャンパス事業(RCC)事業」(大学COC事業、COC+)として平成28年度に実施した事業の成果について報告を行う。諸事業の成果に関する情報共有を通じて、本学における地域志向型の人材育成の可能性について、理解を深める機会としたい。





■本件問い合わせ先■

国立大学法人琉球大学 総合企画戦略部地域連携推進課
 TEL: 098-895-8085(平日9:00~17:15) FAX: 098-895-8185
 E-mail: tyuraimajyou@tjim.u-ryukyuu.ac.jp URL: http://ryudaiooojim.u-ryukyuu.ac.jp
 主催: 地域連携推進機構 共催: グローバル教育支援機構



平成 27 年度成果報告会の様子



平成 28 年度成果報告会の様子



平成 29 年度成果報告会の様子

平成 29 年度成果報告会

平成 30 年3月 15 日に本学共通教育棟の2号館 101 教室において開催した。本報告会では、冒頭に、須加原 一博(地域連携推進機構理事・副学長)氏から、挨拶が行われ、続いて地域連携推進機構特命准教授の空閑睦子氏から、「今年度の大学 COC 事業の実施状況」について、地域連携推進機構特命准教授の小島肇氏から「COC+事業の推進状況」について報告が行われた。

その後、COC 事業取組の一環である「地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)」から2プロジェクト、COC+事業取組の一環である「正課外地域実践教育プロジェクト」から2事例の報告があった。最後に、RCC 事業本部長の遠藤光男氏から総括及び閉会の挨拶があり、終了した。

平成29年度
琉大コミュニティキャンパス(RCC)事業

成果報告会

日時 平成30年3月15日(木)
13:30～16:00(受付13:00～)

会場 琉球大学
共通教育棟2号館101教室

趣旨
本成果報告会では、本学が推進する「琉大コミュニティキャンパス事業(RCC)事業」(大学COC事業、COC+)として平成29年度に実施した事業の成果について報告を行う。諸事業の成果に関する情報共有を通じて、本学における地域志向型の人材育成の可能性について、理解を深める機会としたい。



プログラム

司会 小島 肇 地域連携推進機構 地域連携企画室 特命准教授

I. 開会のあいさつ(13:30～13:35)
須加原 一博理事・副学長(地域連携・地域医療・キャンパス移転担当)

II. RCC事業(大学COC事業、COC+)の進捗状況報告(13:35～14:15)
空閑 睦子 地域連携推進機構 生涯学習推進部門 特命准教授
小島 肇 地域連携推進機構 地域連携企画室 特命准教授

III. 地域共創型学生プロジェクト(ちゅらプロ)成果報告(14:15～14:55)(COC+)
1. 「おきなわ宇宙教室」(発表グループ名:スターダスト)
2. 「キン未来プロジェクト」(発表グループ名:チームまひまひ)
休憩(14:55～15:10)

IV. 「正課外地域実践教育プロジェクト(学内公募)」成果報告(15:10～15:50)(COC+)
1. 「沖縄県の地域医療の医師・医療者偏在問題の解決に貢献する人材育成に向けた取組」
(医学部医学教育企画室 星良さとみ)(15:10～15:30)
2. 「地域農業振興に貢献できる人材育成を目的とした熟帯果樹栽培実習」
(農学部 関根健太郎准教授)(15:30～15:50)

VI. 総括・閉会のあいさつ(15:50～16:00)
遠藤光男本部長(琉大コミュニティキャンパス事業本部長)

■本件問い合わせ先■
国立大学法人琉球大学 総合企画戦略部地域連携推進課
TEL:098-895-8085(平日9:00～17:15) FAX:098-895-8185
E-mail: tyurasima@you@jim-ryukyuo.ac.jp URL: http://ryudaiocoo.jim-ryukyuo.ac.jp

成果報告会チラシ



平成 27 年度成果報告会の様子



平成 28 年度成果報告会の様子



平成 29 年度成果報告会の様子

・シンポジウム開催

●大学 COC 事業シンポジウム

平成 25 年 12 月 7 日(土), 沖縄コンベンションセンター会議棟において, 午後1時から4時までの3時間にわたり, 「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」のシンポジウムを開催した。本シンポジウムでは, アメリカの大学事情についての基調講演及びパネルディスカッションを通して, 沖縄県唯一の総合大学である琉球大学が果たすべき役割などについて議論した。

地(知)の拠点
第75回 琉大21世紀フォーラム 特別企画

琉球大学シンポジウム

～ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)～

日時 平成25年12月7日[土]
13:30～16:00

会場 沖縄コンベンションセンター 会議棟A 会議場A1

入場無料

概要

琉球大学では、自治体等との連携体制による協働を通して、地域再生・活性化を担う新たな人材の創出などを旨とする「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」事業において、地域ニーズに対応した教育プログラム開発やサテライトキャンパス設置による学び直しの機会創出などに取り組んでいます。

本シンポジウムでは、米国の大学事情についての基調講演及びパネルディスカッションを通して、沖縄県唯一の総合大学である琉球大学が果たすべき役割などについて、県民の皆様とともに議論します。

基調講演者	プログラム
沖縄米国総領事 アルフレッド・マグルビー氏 米国の大学事情について(予定)	13:00～ 受付・開場
パネリスト	13:30～ 挨拶
金城 棟啓 【株式会社琉球銀行 代表取締役頭取】	13:40～ 基調講演
下地 敏彦 【宮古島市長】	14:20～ 休憩
コスワッタゲー チャリットチャヤナダ 【琉球大学大学院理工学研究科電気電子工学専攻】	14:30～ パネルディスカッション
大城 肇 【琉球大学長】	16:00 閉会
	■コーディネーター: 下地芳郎 【琉球大学学長補佐】
	■司会: 森田弘美氏

主催 琉球大学 **後援** 沖縄県、沖縄県経営者協会、沖縄県商工会議所連合会
(予定) 沖縄県中小企業家同友会、NHK沖縄放送局、琉球新報社、沖縄タイムス社

シンポジウムチラシ

●総括シンポジウム

平成 30 年2月 23 日(金)、沖縄県立博物館・美術館講堂において、午後1時から5時までの4時間にわたり、「ちゅら島の未来を創る知の津梁(かけ橋)」総括シンポジウムを開催した。平成 25 年度から 29 年度まで5年間にわたって推進してきた琉球大学 COC 事業の、まとめとしての成果報告と、文部科学省の補助期間終了後の事業継続の方向性についての説明がありました。会場には多くの方々が参加した。

シンポジウムでは、大城肇学長の開会挨拶、上間明西原町長の来賓挨拶に続き、高知大学の COC 事業統括・受田浩之高知大学副学長の特別講演が行われた。続いて、須加原一博副学長・地域連携推進機構長より本学 COC 事業の全体的な説明があり、その後、遠藤光男 RCC 事業本部本部長から各プロジェクトの概要・実施状況・成果等が発表された。その後、大城学長、受田高知大学副学長、上間西原町長、琉球大学の現役学生で「ちゅらプロ」に参加した品川玲央さん(理学部二年次)の4人をパネリストに迎えたパネルディスカッションも行われた。

さまざまなアイデアが交わされる中、会場をわかせた意見の一つが琉大学生の品川さんの「実際に地域に行ったらこそ分かることが多くあり大変なためになった。しかし、こんな魅力的な事業を、学生の多くが知らないのは残念」という言葉です。高知大学の受田副学長も「貴重な事業についてのプロモーションをどのように行うのかも大事」、上間町長も「より開かれた大学という姿にこれからも期待する」といった旨を述べられ、これに応える形で大城学長から「事業の可視化は重要であり、それに向けて全力を傾ける」といった話がでた。



パネルディスカッションの様子

総括シンポジウムご登壇者



平成 27 年度成果報告会の様子



平成 27 年度成果報告会の様子



平成 27 年度成果報告会の様子



平成 27 年度成果報告会の様子



平成 27 年度成果報告会の様子



平成 27 年度成果報告会の様子

入場無料

要申込
定員200名
当日参加も可能

シンポジウム内容

文部科学省の補助による大学COC事業「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）」では、平成25年度より、沖縄県や県内の各市町村等と連携する形で、地域社会に資する人材育成プログラムの開発・実施を推進してきました。本シンポジウムでは、5年間の本事業の進捗・成果を報告するとともに、特別講演やパネルディスカッションを通して、地域と大学との今後の連携や人材育成のあり方について、会場の皆様とともに議論を深めていきます。

総括シンポジウム

文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」

「ちゅら島の未来を創る知の津梁（かけ橋）」

地域の人材育成のために琉球大学ができること
COC事業成果と今後の継続的展開の方向性

プログラム
※内容は変更になる場合があります。

- 13:00 開会挨拶
- 13:05 学長挨拶
テーマ:地域とともに成長する琉球大学
～COC事業が琉球大学に
もたらしたもの
- 13:10 来賓挨拶
テーマ:ちゅら島の未来を担う人材への期待
- 13:15 特別講演
高知大学副学長 受田 浩之
テーマ:高知大学COC事業
「KICS」の5年間の総括と
次のステージへの展望
- 14:20 COC事業概要説明
・事業概要(文部科学省の枠組み「[教育]
[研究][社会貢献]」の核により誕生し
た琉球大学独自のCOC事業)
- 14:30 事業成果総括報告
及び今後の継続的展開方針
・成果報告:3つの人材育成プログラム群
・COCで生み出した事業を、大学として
今後どのように展開していくのか
- 15:45 パネルディスカッション
テーマ:地域と大学との連携、
今後の課題と展望
- 17:00 閉会

開催日時

平成30年
2月23日(金)
13:00 ~ 17:00(受付 12:30 ~)

開催場所

沖縄県立博物館・美術館 講堂
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

※お申込は、裏面をご覧ください。

主催 琉球大学地域連携推進機構 琉大コミュニティキャンパス事業本部

総括シンポジウムチラシ

・その他

●オープンキャンパス

毎年のオープンキャンパスに合わせて RCC 事業本部としては学生主導のイベント企画・運営，サテライト配信を実施。学生による出し物や質疑交流など離島の学生に対しても大学の魅力を発信してきた。



平成 26 年度オープンキャンパスの様子



平成 27 年度オープンキャンパスの様子



平成 28 年度オープンキャンパスの様子

●JAXA 宇宙飛行士 若田光一 ミッション報告会

本学，西原町及び西原町商工会は，平成 26 年 11 月 2 日（日）に西原町さわふじ未来ホールにおいて，JAXA 宇宙飛行士 若田光一 ミッション報告会を開催した。

本報告会は，本年 8 月に本学，西原町及び西原町商工会が包括連携協定を締結し，3 者による共同事業として開催したもので，JAXA の協力を得て実現。次世代を担う子供達と世界で活躍する宇宙飛行士とが接する機会を通じて，子供たちに夢と希望を与えるとともに，沖縄におけるエネルギー問題や環境問題について，皆で考える機会を設けることを趣旨としたものである。

また，本報告会は，主会場を西原町さわふじ未来ホールとし，サテライト会場として，琉球大学サテライトキャンパスの宮古島キャンパスと石垣キャンパスにも，インターネットによる双方向での配信を行いました。さらに，USTREM によるインターネット配信も併せて行った。

主催者である本学の大城肇学長による開会の挨拶の後，第 1 部では若田光一宇宙飛行士から，昨年 11 月から本年 5 月までの 188 日間における国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在のミッションの報告があり，主会場及びサテライトキャンパスに参加した小中高校生及びその保護者 535 人が若田宇宙飛行士の説明に熱心に耳を傾けていた。

その後の質問コーナーでは，主会場及びサテライト会場の参加者から若田宇宙飛行士に対して活発な質問があり，石垣キャンパスから「宇宙人は本当にいるのですか」の質問により，会場を沸かせた。

また，第 2 部では，本学教育学部の清水洋一教授をファシリテーターとして，「エネルギー・環境問題について皆で考えてみよう！」をテーマに若田宇宙飛行士と，午前中に開催した工作教室に参加した小中高校生の代表 5 人によるトークセッションを行った。

トークセッションでは，午前中に行われた工作の成果発表と併せて沖縄におけるエネルギー問題や環境問題を踏まえ，私たちが何をすべきか，何ができるのかを議論した。

第 2 部の最後では，若田宇宙飛行士から，沖縄の子供たちに，「世の中には宇宙だけではなく，素晴らしい事がいっぱいある。皆さん一人ひとりが輝く素晴らしい力を持っていて，目標を持って，がんばり夢をつかんでもらいたい。また，この沖縄の地からも宇宙関係に携われる仲間が出てきてもらいたい」とのメッセージをいただいた。

最後に，主催者の西原町の上間町長から閉会の挨拶がありミッション報告会は終了した。



石垣キャンパスからの様子(3枚とも)



若田光一宇宙飛行士がやって来る!



©JAXA/NASA/Bill Ingalls

©NASA **JAXA宇宙飛行士 若田光一**

ミッション報告会

日 時: 2014年11月2日(日) 13:00~15:00
(工作教室は9:30~12:00)

場 所: 主 会 場 西原町さわふじ未来ホール 500名定員
(沖縄県中頭郡西原町与那城140-1)

サテライト会場 (インターネットによる配信)
宮古島キャンパス 70名定員(宮古島市中央公民館)
石垣キャンパス 100名定員(石垣市立図書館)

参加料
無料

500名様ご招待

- プログラム
- 【午前の部】工作教室
- 【午後の部】第1部 JAXA若田宇宙飛行士によるミッション報告会
- 第2部 エネルギー・環境問題について皆で考えてみよう!
- ライブ中継
- 配信はこちら→<http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/> (琉球大学のRCCホームページへ)
- お申し込み方法
- 10月22日(水)までにWebか別添の申込み用紙にてFAXでお申し込みください。
- お申込み・お問合せ先 ※詳細は裏面をご覧ください
- <http://ryudaicoc.jim.u-ryukyu.ac.jp/>
- FAX: 098-895-8185 TEL: 098-895-8085 (琉球大学地域連携推進課)

- 主催 琉球大学、西原町、西原町商工会
- 共催 宇宙航空研究開発機構、西原町教育委員会(以下調整中 沖縄県教育委員会
宮古島市教育委員会、石垣市教育委員会、NHK沖縄放送局、沖縄タイムス社、他)



©JAXA

「JAXA 宇宙飛行士若田光一 ミッション報告会」チラシ

